

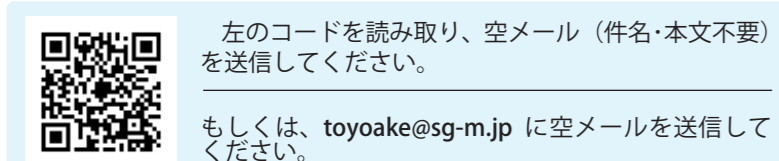
豊明市 水害・土砂災害 ハザードマップ

保存版

令和4年(2022年) 3月改訂

豊明市メール配信サービス

防災情報など市からのお知らせを登録された方の携帯電話などに電子メールで配信するサービスです。どなたでも登録でき、無料です。ぜひご利用ください。



豊明市公式 SNS

下のコードを読み取って、豊明市公式 SNS を確認すると、防災情報が受け取れます。



同報無線

放送内容を聞き逃したときは、自動応答電話サービス。同報無線ダイヤル TEL 0562-92-7811 このダイヤルで、同報無線の放送を聞き直すことができます。(通話料がかかります)

お役立ち情報

災害情報を自ら収集し、危険を感じたときは自主的に避難してください。

- 豊明市ホームページ: <https://www.city.toyoake.lg.jp/>
- 豊明市公式 SNS
- 国土交通省 防災情報提供センター: <https://www.mlit.go.jp/saigai/boosajoh/>
- 豊明市 河川水位情報: <https://www.city.toyoake.lg.jp/5134.htm>

災害用伝言サービス「171」と「web171」

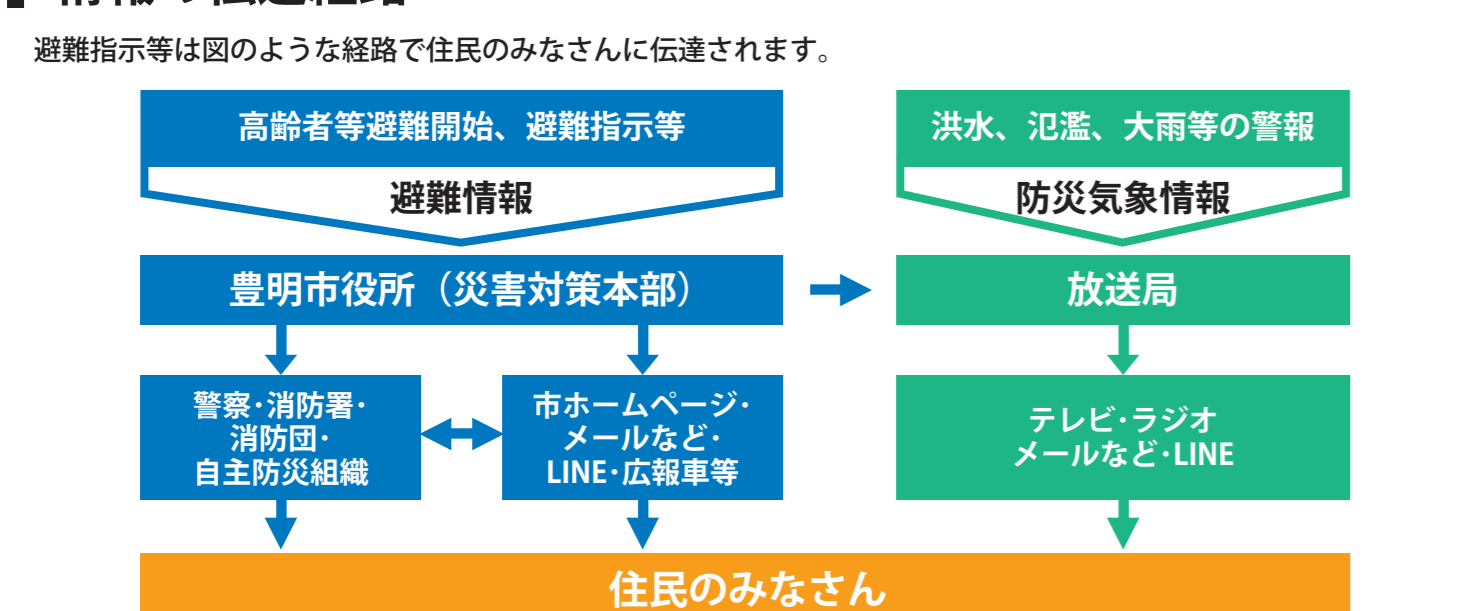
NTT の災害用伝言ダイヤルは、地震などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

被災地域内と他の地域を結ぶ声の伝言板。 「災害用伝言ダイヤル 171」 利用ガイドラインにしたがってご利用ください。

家族等の安全がインターネット上で確認できる。 「災害用伝言版 web171」 画面の指示によりご利用ください。

豊明市役所 TEL 0562-92-1111 URL <https://www.city.toyoake.lg.jp/>

情報の伝達経路



家の内外の風水害対策

日頃から十分な対策を立てておきましょう。

- 屋外**
 - 雨どいに落ち葉や土砂が詰まっていないか、継ぎ目ははずれや塗装のはがれ、腐りはないか。
 - 雨戸にガタツキや緩みはないか。
 - 鉢植えや物干し竿など飛散の危険が高い物は室内へ。
 - 窓ガラスのひび割れ、窓枠のガタツキはないか。また、強風による飛来物などに備えて、外側から板でふさぐなどの処置を。
 - 瓦のひび、割れ、ずれ、トタンのめくれ、はがれはないか。
 - モルタルの壁に亀裂はないか。板壁に腐りや浮きはないか。フロアガスのボンベは固定されているか。
 - 側溝のゴミや土砂を取り除き、雨水の排水をよくしておく。
 - 敷地内にひび割れや破損箇所はないか。
- 屋内**
 - 停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオなどを準備する。
 - 避難に備えて貴重品などの非常持ち出し品を準備する。
 - 気象情報や市からの情報に注意する。
 - むやみに外出しない。
 - 断水などに備えて、飲料水などを確保しておく。
 - 浸水などのおそれがある場合は、家財道具や食料品、衣類、寝具などの生活用品を高い場所へ移動する。
 - 高齢者や子ども、病人などの要配慮者を早めに避難させる。
 - テレビのリモコンの“d”ボタンを押して、データ放送を見る。

水害発生時における避難の心得

風水害などの災害が発生するおそれが高まったとき、命を守るための行動(=避難行動)を取ってください。避難行動には、次の4つの行動があります。災害の種類ごとに危険な場所を把握し、どのような行動を取ればよいかをあらかじめ確認しておきましょう。

- 立ち退き避難**
 - ① 避難場所・避難所への移動
 - ② 避難場所・避難所以外の安全な場所(親戚や友人の家等)への移動
 - ③ 近隣の高い建物、強度の強い建物等への移動

避難途中、浸水がひざ下近くまできたら!

近くにある高い建物などに避難してください!
- 屋内安全確保**
 - ④ 建物内より安全な場所(高い場所など)への移動とその場所での待機

自宅にいるとき、浸水が始まりました!

すぐに上へ避難してください!

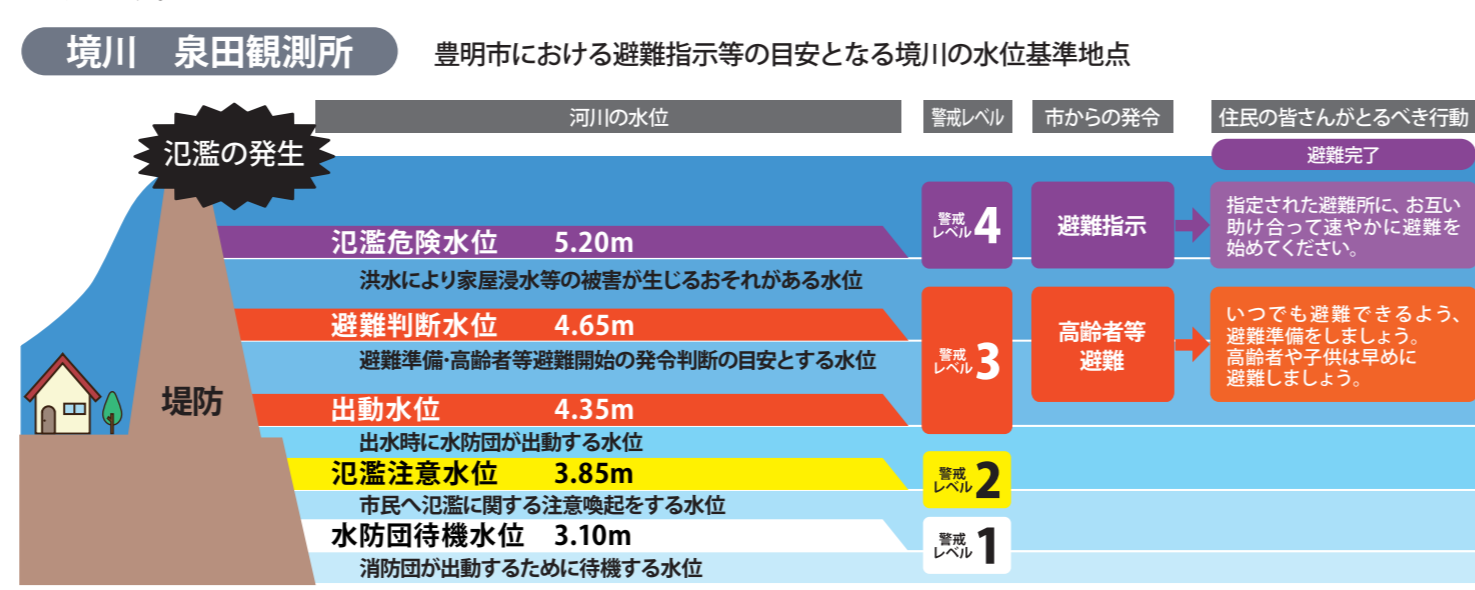
警戒レベルとは

災害発生の危険度とみなさんのとるべき行動を直感的に理解するための情報です。警戒レベル目や目が出たら、危険な場所から避難しましょう!

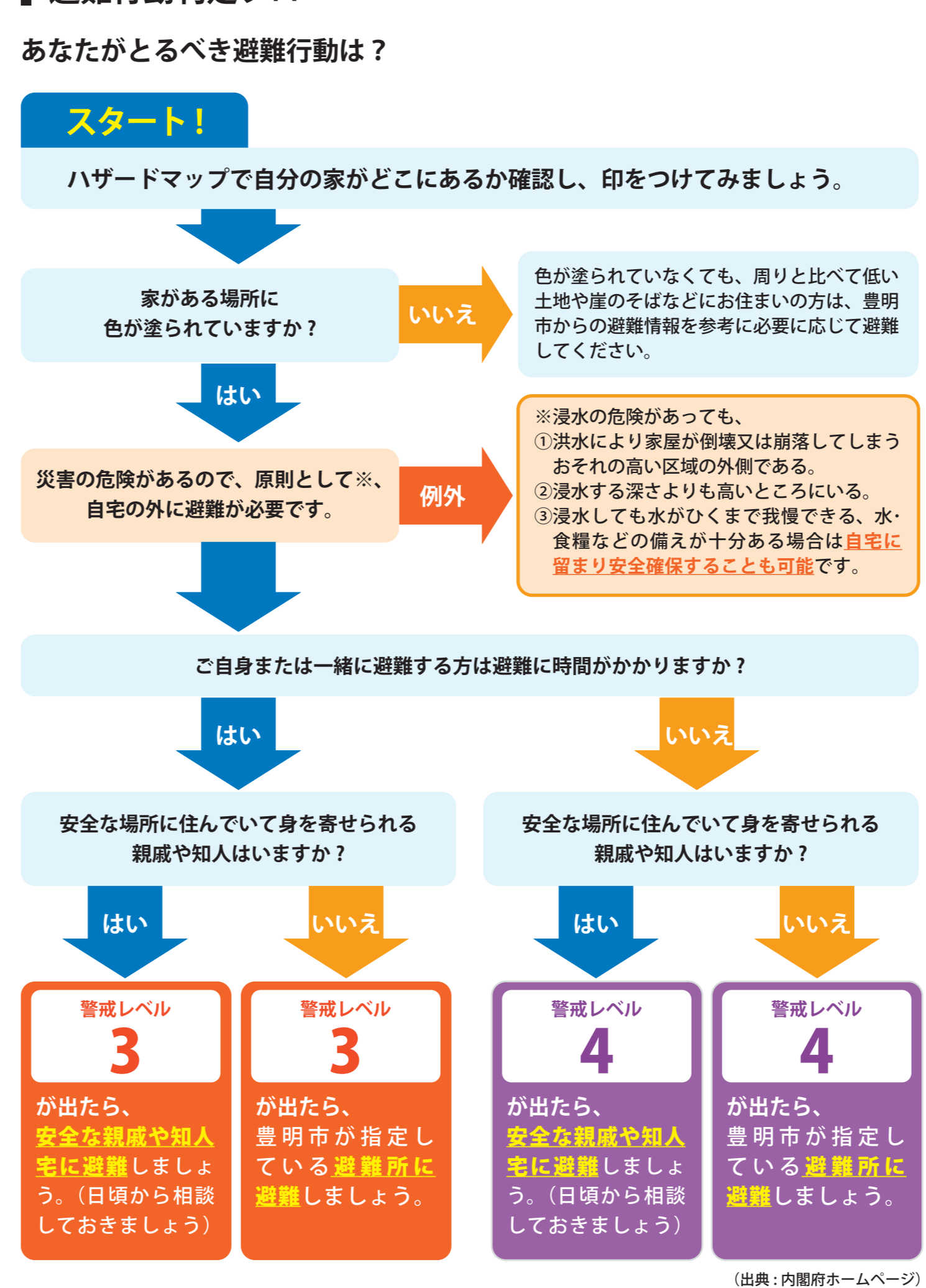
警戒レベル	住民のみなさんにとるべき行動	避難情報等	防災気象情報
警戒レベル 5	既に災害が発生している状況です。命の危険が迫っているため、直ちに身の安全を確保する行動をとりましょう。	緊急安全確保 ※災害が実際に発生していることを把握した場合、可能な範囲で発令します。(豊明市が発令)	警戒レベル 5 相当情報 ● 氾濫発生情報 ● 大雨特別警報 等
警戒レベル 4	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所へ移動しましょう。	避難指示 ※地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令します。(豊明市が発令)	警戒レベル 4 相当情報 ● 氾濫危険情報 ● 土砂災害警戒情報 ● 高潮特別警報 ● 高潮警報 等
警戒レベル 3	避難に時間を要する人(高齢者の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 ※避難判断水位に到達した場合に発令します。(豊明市が発令)	警戒レベル 3 相当情報 ● 氾濫警戒情報 ● 洪水警報 ● 大雨警報(土砂災害) ● 高潮注意報 等
警戒レベル 2	ハザードマップ等により、災害が想定されている区域、避難先、避難経路を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発令)	内閣府 HP 「防災情報のページ」より
警戒レベル 1	最新の防災気象情報に留意するなど、災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発令)	

基準水位と避難指示

洪水に係る避難指示などの発令判断の目安となる水位のことを基準水位といいます。基準水位は、各水位観測所の受け持ち区間のうち、最も早く浸水被害が発生する地点(危険箇所)で決まっています。基準水位は、河川が溢れはじめるまでに避難が完了できるよう、避難に要する時間(リードタイム)などを考慮して設定しています。



避難行動判定フロー



ため池ハザードマップ

豊明市では、防災重点ため池においてため池決壊時における浸水深や流速、到達時間が公開されています。下記のリンク先で、豊明市内のため池ハザードマップを閲覧することができます。地域の安全確認の際の参考にしてください。

※防災重点ため池とは、決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池のことです。

ため池ハザードマップ 豊明市防災重点ため池マップ 検索

やむなく浸水の中を歩かなければならないときの注意

- 掛ける深さの目安は大人で 50cm までです。それ以上は救助を待ちましょう。
- 水深が浅い場所でも流れが速い場合は、非常に危険です。無理をせず救助を待ちましょう。
- 高齢者や身体の不自由な人などは背負って避難しましょう。

●深い浸水だとマンホールに気付かず、吸い込まれてしまう場合があります。

●切れた電線など、危険な場所には近寄らないようにしましょう。

●氾濫による水は汚水が混ざっているため、むやみにさわらないようにしましょう。

●避難するときの服装

- 傘は使わず、雨合羽を着用する。
- 非常持ち出し用品はリュックサックに入れて背負う。
- ひもでしっかり締められる運動靴をはきましょう。
- 裸足や長靴は危険です。
- 長い棒を杖にして、安全確認をしながら歩きましょう。
- 水面下には、側溝や障害物などもあり、危険です。
- 軍手(手袋)を着用する。

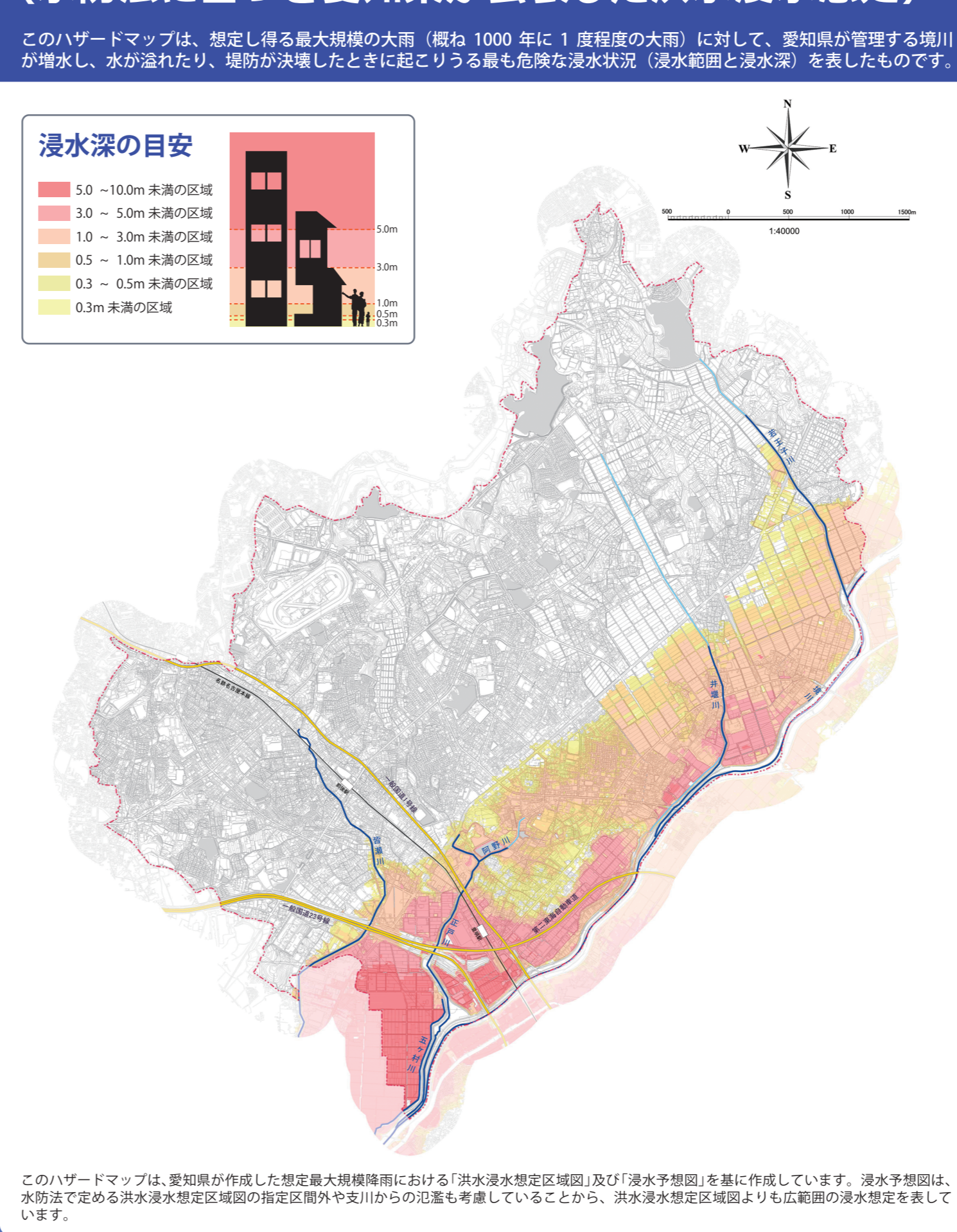
日頃の備え

非常持ち出し用品の準備をしましょう。

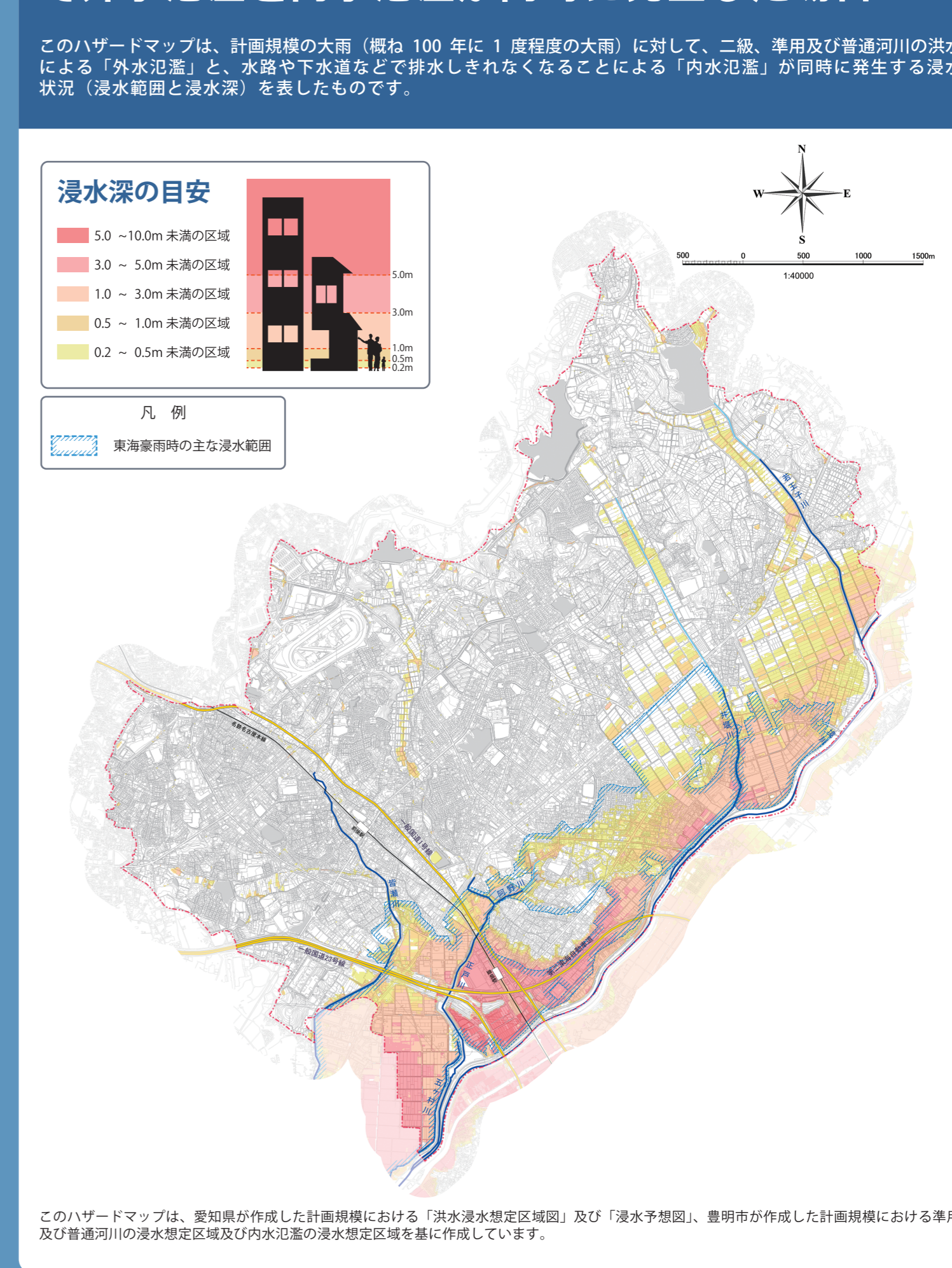
非常食 (3日分)	飲料水 (1日1人3ℓを3日分)	簡易ガスコンロ	ミルク、ほ乳瓶、おむつ	生理用品	ローソク	手袋
救急用品	下着	防寒着	貴重品	メカなど日常生活に欠かせないもの	マッチ・ライター	缶切り・鉗き
携帯ラジオ	懐中電灯	ティッシュ、フェルトティッシュ	タオル	雨具	予備電池	口腔ケア用品

避難所に避難する場合は、食料・水以外にマスク、体温計、消毒薬などを持参し、ソーシャルディスタンスを確保するなど感染症対策にも心がけましょう。

1000年に1度程度の大雨(24時間総雨量760mm)で外水氾濫のみ発生した場合(水防法に基づき愛知県が公表した洪水浸水想定)



100年に1度程度の大雨(24時間総雨量411mm)で外水氾濫と内水氾濫が同時に発生した場合



水害・土砂災害 ハザードマップ

保存版

令和4年(2022年)
3月改訂

豊明市メール配信サービス

防災情報など市からのお知らせを登録された方の携帯電話などに電子メールで配信するサービスです。どなたでも登録でき、無料です。ぜひご活用ください。



左のコードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信してください。

もしくは、toyoake@sg-m.jp に空メールを送信してください。

豊明市公式 SNS

下のコードを読み取って、豊明市公式 SNS を確認すると、防災情報が受け取れます。

LINE



Twitter



Facebook



※LINEのコードはLINEアプリ内のコード読み取り機能を使用して読み取ってください。

同報無線

放送内容を聞き逃したときは…
自動応答電話サービス

同報無線
ダイヤル

TEL 0562-92-7811

このダイヤルで、同報無線の放送を聞き直すことができます。(通話料がかかります)

お役立ち情報

災害情報を自ら収集し、危険を感じたときは自主的に避難してください。

豊明市ホームページ

<https://www.city.toyoake.lg.jp/>

気象警報が発表された場合などにトップページで情報を確認することができます。



愛知県 川の防災情報

<https://www.kasen-aichi.jp/>

県内雨量、県管理河川(境川)の水位、河川カメラを確認できます。



国土交通省 防災情報提供センター

<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

国土交通省が保有する防災情報を集約して、わかりやすく提供しています。



豊明市 河川水位情報

<https://www.city.toyoake.lg.jp/5134.htm>

市内の河川水位を確認できます。



災害用伝言サービス「171」&「web171」

NTTの災害用伝言ダイヤルは、地震などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

被災地域内と他の地域を結ぶ声の伝言板。

「災害用伝言ダイヤル 171」

利用ガイダンスにしたがってご利用ください。

伝言の録音方法

171 にダイヤルする

暗証番号を利用する録音は「3」

(000)0000-00000

被災地の電話番号・携帯電話・PHS・IP電話の電話番号をダイヤルしてください。※市外局番からダイヤルしてください。

伝言の再生方法

171 にダイヤルする

暗証番号を利用する録音は「4」

(000)0000-00000

被災地の電話番号・携帯電話・PHS・IP電話の電話番号をダイヤルしてください。※市外局番からダイヤルしてください。

家族等の安全がインターネット上で確認できる。

「災害用伝言版 web171」

画面の指示によりご利用ください。

登録方法

<https://www.web171.jp/> にアクセス

(000)0000-00000

画面の指示に従って、文字による伝言を登録してください。

閲覧方法

<https://www.web171.jp/> にアクセス

(000)0000-00000

画面の指示に従って、文字による伝言を確認・追加してください。

警戒レベルとは

災害発生の危険度とみなさんのとるべき行動を直感的に理解するための情報です。警戒レベル3や4が出たら、危険な場所から避難しましょう！

避難情報等		防災気象情報	
警戒レベル	住民のみなさんがとるべき行動	警戒レベル相当情報(例)	
警戒レベル 5	既に災害が発生している状況です。命の危機が迫っているため、直ちに身の安全を確保する行動をとりましょう。	緊急安全確保 ※災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令します。(豊明市が発令)	警戒レベル 5 相当情報 ●氾濫発生情報 ●大雨特別警報 等
警戒レベル 4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所へ移動しましょう。	避難指示 ※地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令します。(豊明市が発令)	警戒レベル 4 相当情報 ●氾濫危険情報 ●土砂災害警戒情報 ●高潮特別警報 ●高潮警報 等
警戒レベル 3 高齢者や要配慮者等避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 ※避難判断水位に到達した場合に発令します。(豊明市が発令)	警戒レベル 3 相当情報 ●氾濫警戒情報 ●洪水警報 ●大雨警報(土砂災害) ●高潮注意報 等
警戒レベル 2	ハザードマップ等により、災害が想定されている区域、避難先、避難経路を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発令)	内閣府 HP 「防災情報のページ」より
警戒レベル 1	最新の防災気象情報に留意するなど、災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発令)	

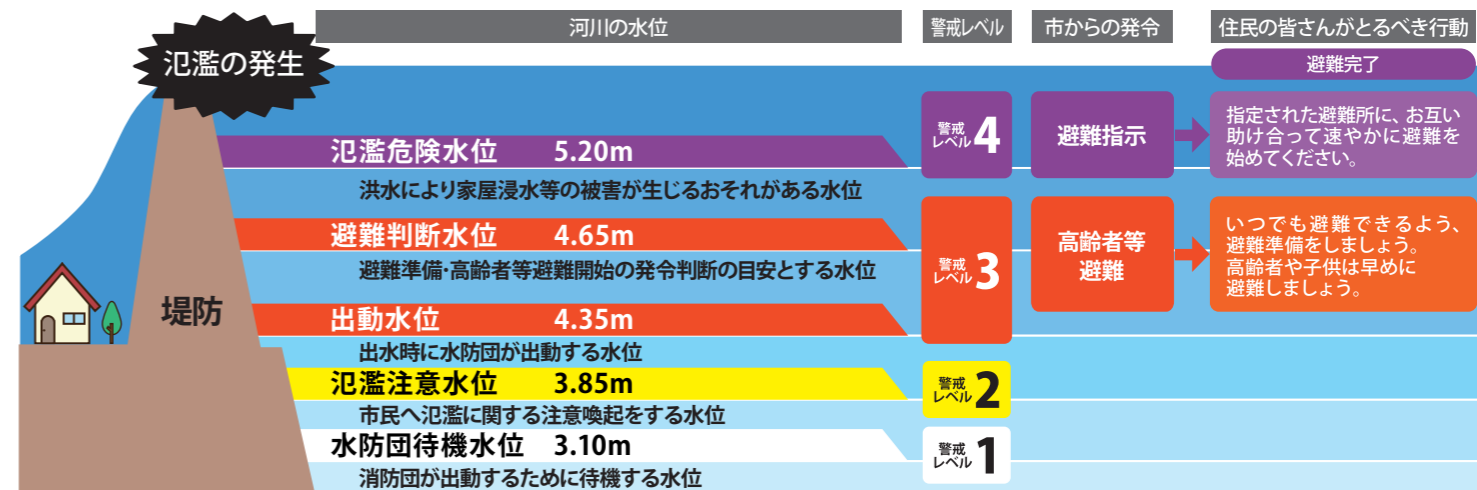
※各種の情報は、警戒レベル1~5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

基準水位と避難指示

洪水に係る避難指示などの発令判断の目安となる水位のことを基準水位といいます。基準水位は、各水位観測所の受け持ち区間のうち、最も早く浸水被害が発生する地点(危険箇所)で決まっています。基準水位は、河川が溢れはじめるまでに避難が完了できるよう、避難に要する時間(リードタイム)などを考慮して設定しています。

境川 泉田観測所

豊明市における避難指示等の目安となる境川の水位基準地点



避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

スタート!

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に
色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、豊明市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、
自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。
②浸水する深さよりも高いところにいる。
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分ある場合は**自宅に留まり安全確保することも可能**です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる
親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる
親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル
3

が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル
3

が出たら、豊明市が指定している**避難所に避難**しましょう。

警戒レベル
4

が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル
4

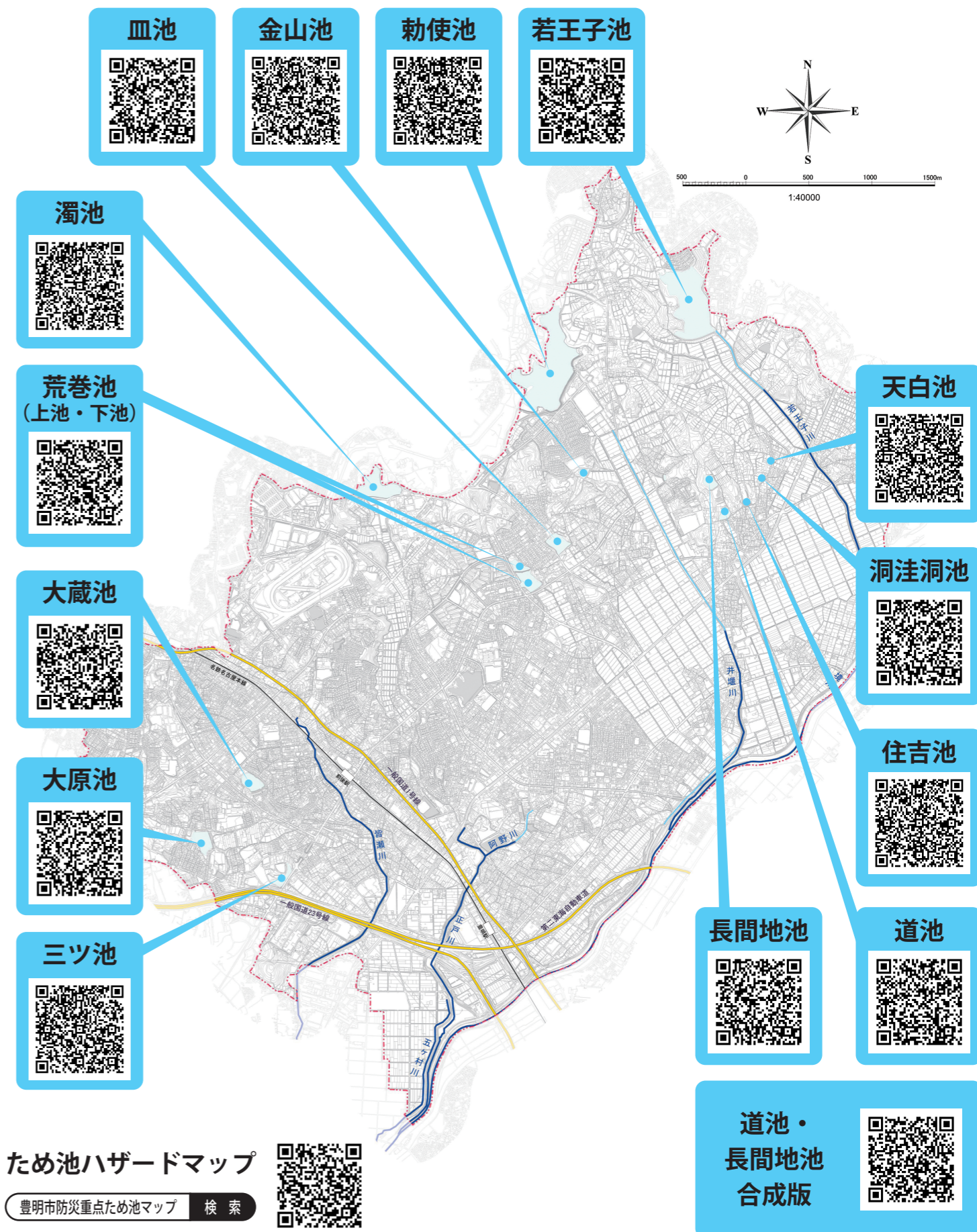
が出たら、豊明市が指定している**避難所に避難**しましょう。

(出典：内閣府ホームページ)

ため池ハザードマップ

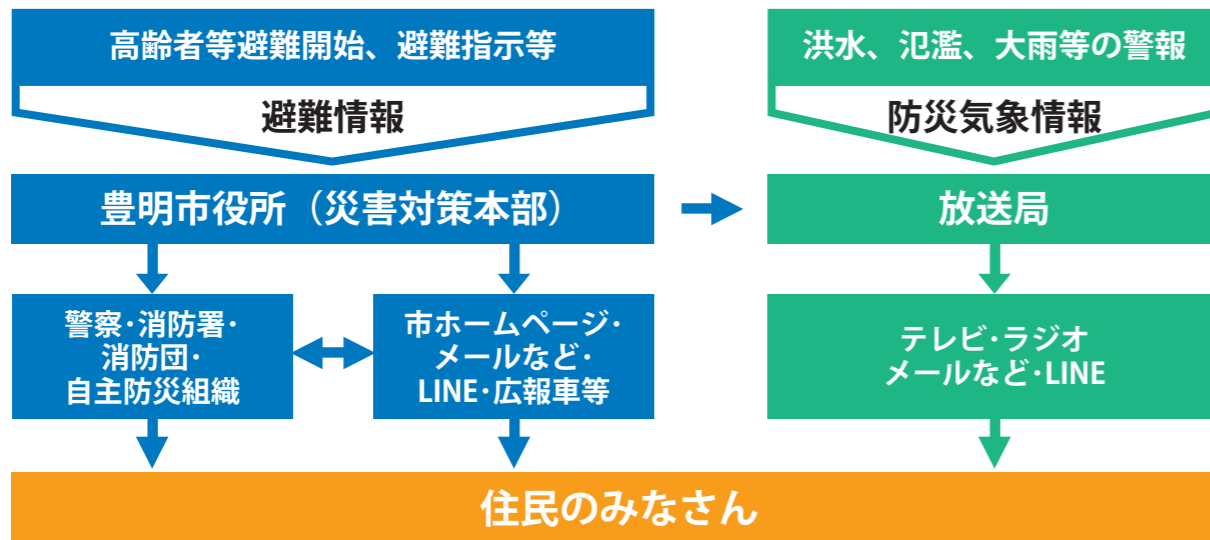
豊明市では、防災重点ため池においてため池決壊時における浸水深や流速、到達時間が公開されています。下記のリンク先で、豊明市内のため池ハザードマップを閲覧することができます。地域の安全確認の際の参考などにご活用ください。

※防災重点ため池とは、決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池のことです。



情報の伝達経路

避難指示等は図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



家の内外の風水害対策

日頃から十分な対策を立てておきましょう。

屋外

- 雨どいに落ち葉や土砂が詰まっていないか。継ぎ目ははずれや塗装のはがれ、腐りはないか。
- 雨戸にガタツキや緩みはないか。
- 鉢植えや物干し竿など飛散の危険が高い物は室内へ。
- 窓ガラスのひび割れ、窓枠のガタツキはないか。また、強風による飛来物などに備えて、外側から板でふさぐなどの処置を。
- 瓦のひび、割れ、ずれ、トタンのめくれ、はがれはないか。
- モルタルの壁に亀裂はないか。板壁に腐りや浮きはないか。プロパンガスのボンベは固定されているか。
- 側溝のゴミや土砂を取り除き、雨水の排水をよくしておく。
- 敷地内にひび割れや破損箇所はないか。

屋内

- 停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオなどを準備する。
- 避難に備えて貴重品などの非常持ち出し品を準備する。
- 気象情報や市からの情報に注意する。
- むやみに外出しない。
- 断水などに備えて、飲料水などを確保しておく。
- 浸水などのおそれがある場合は、家財道具や食料品、衣類、寝具などの生活用品を高い場所へ移動する。
- 高齢者や子ども、病人などの要配慮者を早めに避難させる。
- テレビのリモコンの" d " ボタンを押して、データ放送を見る。

水害発生時における避難の心得

風水害などの災害が発生するおそれが高まったとき、命を守るための行動 (= 避難行動) を取ってください。避難行動には、次の 4 つの行動があります。災害の種類ごとに危険な場所を把握し、どのような行動を取ればよいかをあらかじめ確認しておきましょう。

立ち退き避難

- ① 避難場所・避難所への移動
- ② 避難場所・避難所以外の安全な場所 (親戚や友人の家等) への移動
- ③ 近隣の高い建物、強度の強い建物等への移動

避難途中、浸水がひざ下近くまできたら!

近くにある高い建物などに避難してください!



通常、浸水が 50cm を越えた場所での避難行動は危険です。水の流れが強いときは 15cm でも危険です。

屋内安全確保

- ④ 建物内のより安全な場所 (高い場所など) への移動とその場所での待機

自宅にいるとき、浸水が始まったら!

すぐに上へ避難してください!

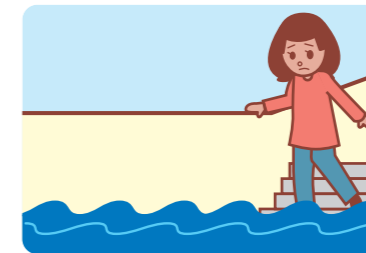


やむなく浸水の中を歩かなければならないときの注意

- 歩ける深さの目安は大人で 50cm までです。それ以上は救助を待ちましょう。



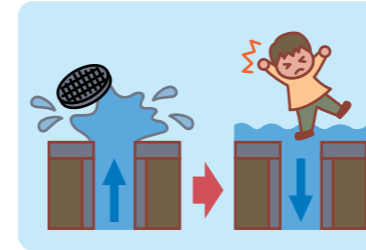
- 水深が浅い場所でも流れが速い場合は、非常に危険です。無理をせず救助を待ちましょう。



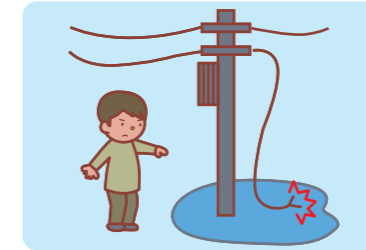
- 高齢者や身体の不自由な人などは背負って避難しましょう。



- 深い浸水だとマンホールに気付かず、吸い込まれてしまう場合があります。



- 切れた電線など、危険な場所には近寄らないようにしましょう。



- 氾濫による水は汚水が混ざっているため、むやみにさわらないようにしましょう。

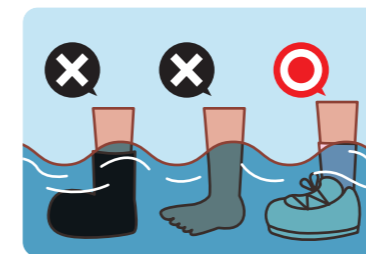


傘は使わず、雨合羽を着用する。

非常時持ち出し用品はリュックサックに入れて背負う。

ひもでしっかり締められる運動靴をはきましょう。

裸足や長靴は危険です。



避難するときの服装



長い棒を杖にして、安全確認をしながら歩きましょう。

水面下には、側溝や障害物などもあり、危険です。



軍手 (手袋) を着用する。

感染症対策

避難所に避難する場合は、食料・水以外にマスク、体温計、消毒液などを持参し、ソーシャルディスタンスを確保するなど感染症対策にも心がけましょう。



日頃の備え

非常時持ち出し用品の準備をしましょう。

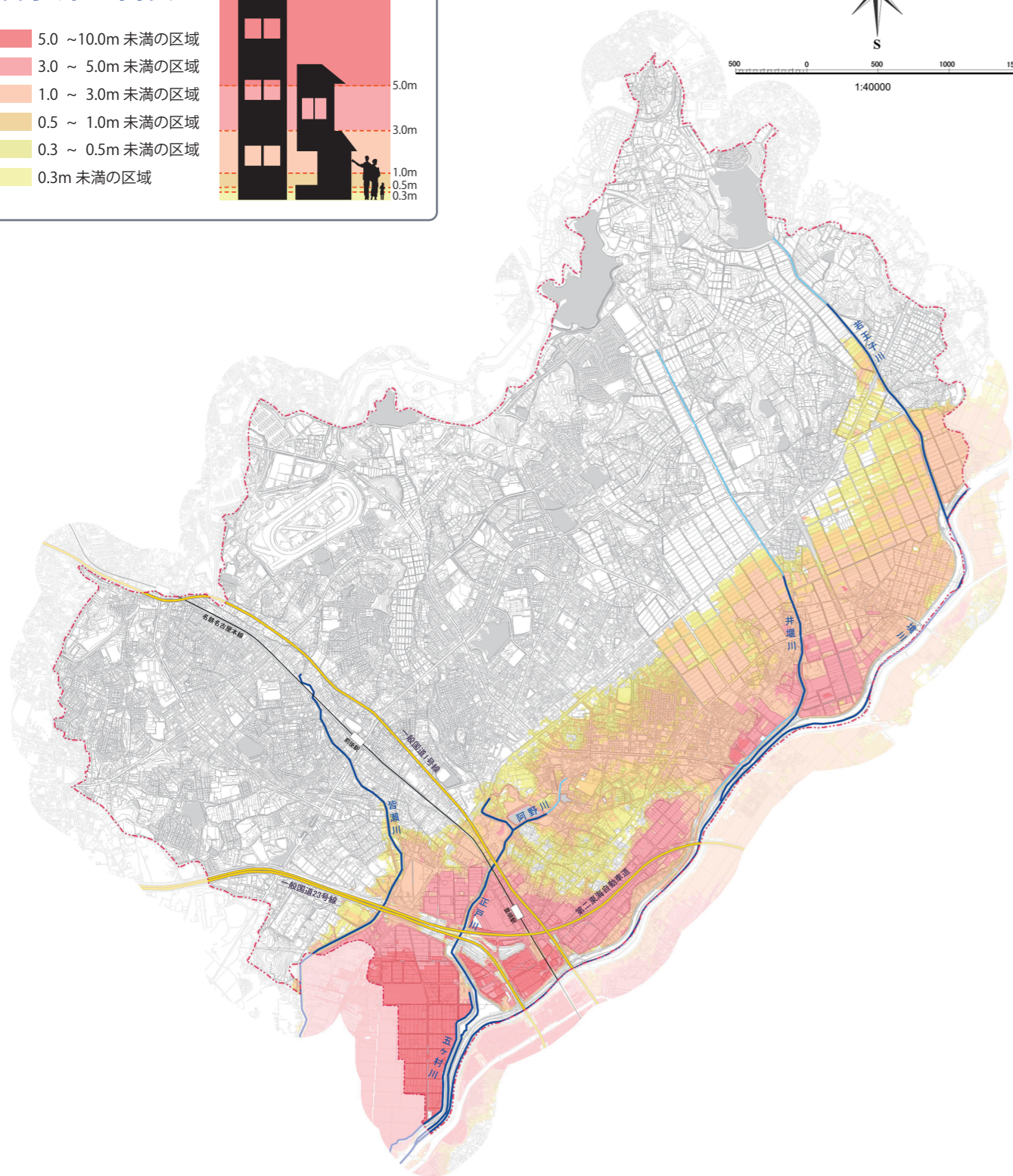
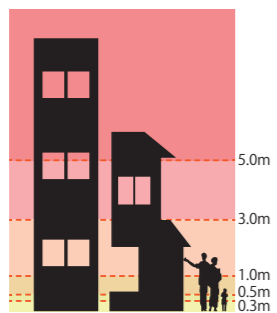
非常食 (3日分) 	飲料水 (1日1人3ℓを3日分) 	簡易ガスコンロ 	ミルク、ほ乳瓶、おむつ 	生理用品 	ローソク 	手袋
救急用品 	下着 	防寒着 	貴重品 	メガネなど日常生活に欠かせないもの 	マッチ・ライター 	缶切り・栓抜き
携帯ラジオ 	懐中電灯 	ティッシュ、ウェットティッシュ 	タオル 	雨具 	予備電池 	口腔ケア用品

1000年に1度程度の大雨(24時間総雨量760mm)で外水氾濫のみ発生した場合 (水防法に基づき愛知県が公表した洪水浸水想定)

このハザードマップは、想定し得る最大規模の大雨(概ね1000年に1度程度の大雨)に対して、愛知県が管理する境川が増水し、水が溢れたり、堤防が決壊したときに起こりうる最も危険な浸水状況(浸水範囲と浸水深)を表したものです。

浸水深の目安

- 5.0 ~ 10.0m 未満の区域
- 3.0 ~ 5.0m 未満の区域
- 1.0 ~ 3.0m 未満の区域
- 0.5 ~ 1.0m 未満の区域
- 0.3 ~ 0.5m 未満の区域
- 0.3m 未満の区域



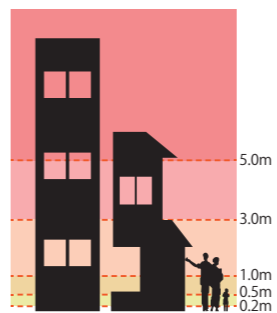
このハザードマップは、愛知県が作成した想定最大規模降雨における「洪水浸水想定区域図」及び「浸水予想図」を基に作成しています。浸水予想図は、水防法で定める洪水浸水想定区域図の指定区間外や支川からの氾濫も考慮していることから、洪水浸水想定区域図よりも広範囲の浸水想定を表しています。

100年に1度程度の大雨(24時間総雨量411mm)で外水氾濫と内水氾濫が同時に発生した場合

このハザードマップは、計画規模の大雨(概ね100年に1度程度の大雨)に対して、二級、準用及び普通河川の洪水による「外水氾濫」と、水路や下水道などで排水しきれなくなることによる「内水氾濫」が同時に発生する浸水状況(浸水範囲と浸水深)を表したものです。

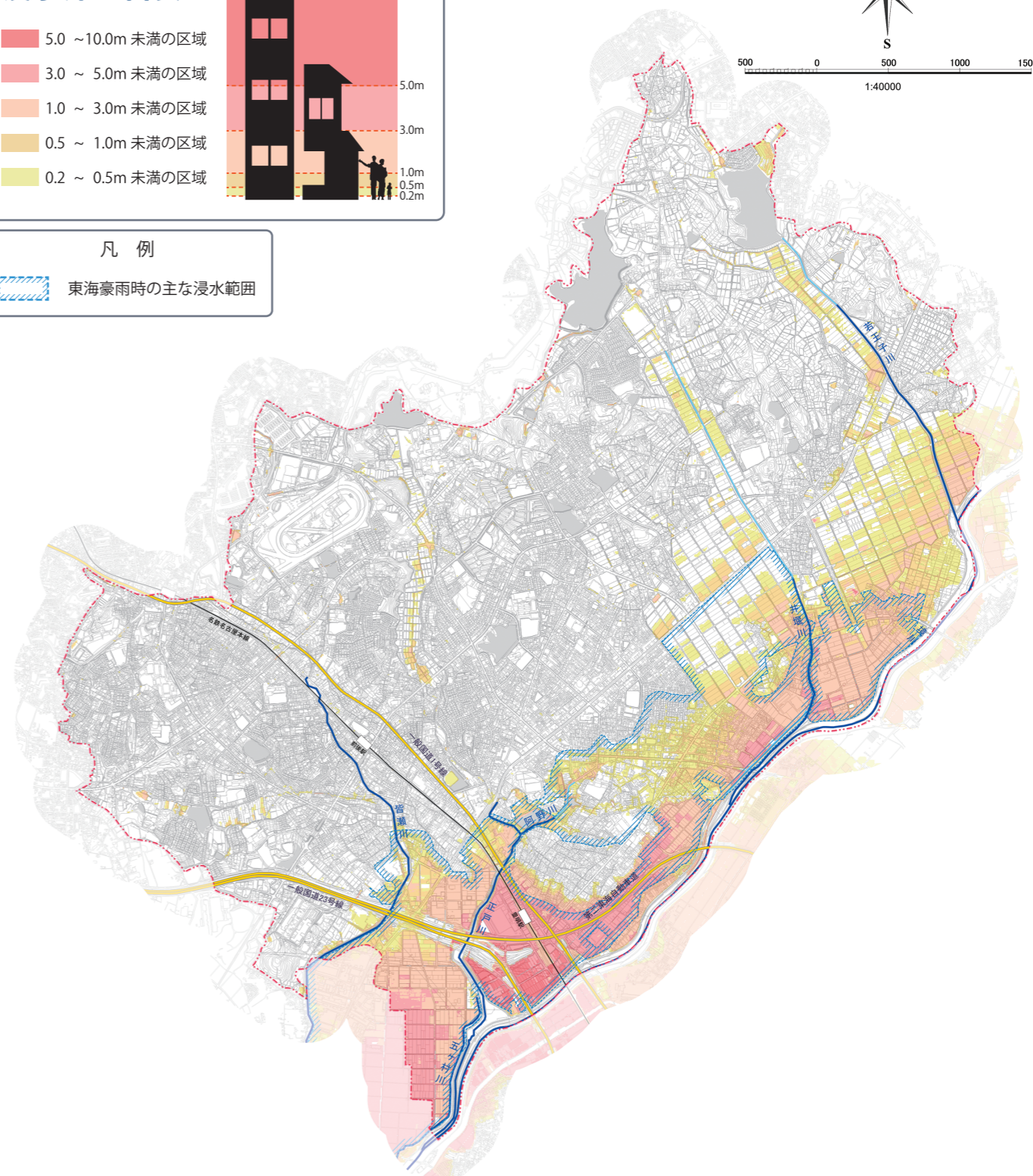
浸水深の目安

- 5.0 ~ 10.0m 未満の区域
- 3.0 ~ 5.0m 未満の区域
- 1.0 ~ 3.0m 未満の区域
- 0.5 ~ 1.0m 未満の区域
- 0.2 ~ 0.5m 未満の区域



凡例

- 東海豪雨時の主な浸水範囲



このハザードマップは、愛知県が作成した計画規模における「洪水浸水想定区域図」及び「浸水予想図」、豊明市が作成した計画規模における準用及び普通河川の浸水想定区域及び内水氾濫の浸水想定区域を基に作成しています。